

帰国・外国人児童・生徒等に対する日本語特別指導の取り組みについて



日本語特別指導

- 【対象者】日本語の理解が不十分な大田区立小学校及び中学校に在籍する児童・生徒
- 【内容】対象児童・生徒の在籍校に指導員を派遣して、日本語能力の習得を進めるための言語指導、学校及び日常における生活・習慣への適応指導を行う。
- 【指導時間】1人当たりの指導時間数は60時間を上限とする。校長からの申請により、教育委員会が必要と認めた場合は、20時間延長し、80時間を上限とする。

日本語学級

- 【対象者】原則、日本語特別指導を終え、さらに日本語能力が不十分であるために、通常授業における学習理解の習得が困難である児童・生徒
- 【内容】小学校の対象児童は蒲田小学校内、中学生の対象生徒は蒲田中学校内に開設した日本語学級に通級する。
- 【通級期間】小・中学校合わせて最長2年間

日本語指導の趣旨

大田区立小中学校に在籍する外国人及び帰国児童・生徒等のうち、日本語指導が必要な児童・生徒に対し、他の児童・生徒とともに学校生活を送るために必要な日本語を身につけ、日本語で各教科等の学習に参加できるようにするための支援を行う。

目指す姿

- 対象児童・生徒の日本語能力に応じた指導員を派遣して、児童・生徒が適切な日本語を習得する。
- 小学校から中学校への進学等環境の変化が生じて、継続して適切な日本語指導を行うことができる体制を構築する。
- 各学校で回答した初期指導に関するアンケートを集計したものを指導員と情報共有して、更に指導員の児童・生徒に対する指導力の向上を図る。

「おおた教育ビジョン」

ビジョンⅠ
社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力を育成する。

プラン1
未来社会を創造的に生きる子どもの育成

取組4 ともに生きる力
考えの違いや多様性を尊重しながら、共通性を見出し、ともに生きる子どもを育てる。

【目的】

日本語指導の情報交換及び日本語指導の充実・改善に向けた協議の場、年2回実施

◆日本語指導検討委員会

～大田区の実情に応じた
日本語指導体制～

第1回：6月中旬 場所：蒲田小学校

(内容) 授業公開、各学校の新年度の状況や指導内容についての情報交換、日本語指導の新規・継続受講者数及び言語別実績に関する報告

第2回：2月上旬 場所：蒲田中学校

(内容) オンデマンドによる授業公開、日本語学級・加配学校の現状及び指導内容報告、当該年度の日本語特別指導業務委託事業状況報告